

教育旅行向け特別企画

紫式部ゆかりの石山寺で『源氏物語』を学ぶ

(小・中学生および高校生対象)



源氏物語圓色紙貼交屏風



伝土佐光則筆 源氏物語画帖



源氏小鏡



紫式部親月図



源氏物語絵巻 湖水五十四帖



土佐光起筆 紫式部図 (江戸時代)

大本山 石山寺

教育旅行向け特別企画「紫式部ゆかりの石山寺で『源氏物語』を学ぶ」 ご案内

琵琶湖から流れ出る瀬田川の西岸に位置する石山寺は、天平19（747）年、聖武天皇の勅願により、東大寺の良弁僧正が開基された真言宗の古刹です。観音の寺、学問の寺、文学の寺、花の寺として、古くより参拝の人々は途切れることなく続いています。特に、紫式部が参籠し『源氏物語』を書き始めたという伝説はすでに鎌倉時代から知られ、紫式部や『源氏物語』に思いを抱いて訪れる芸術家や文学者による作品の心寄せを多く襲蔵してまいりました。

このような石山寺の歴史を広く知っていただくため、石山寺では毎年春と秋に「石山寺と紫式部」展を境内の豊浄殿にて開催しております。毎回異なったテーマを設け、紫式部ゆかりの品々をはじめ、当寺に伝わる経典、仏像、仏画、石山寺縁起絵巻、古文書、源氏絵、工芸品などを様々な角度からご紹介し、世界に2例しか確認できていない絵入り写本『源氏小鏡』の挿絵を用いた「54歩で読む『源氏物語』」という展示もあわせて大変ご好評を得ています。

特に小・中学生および高校生の方には、世界に誇る最古の長編小説「源氏物語」や、教科書や資料集に掲載される「石山寺縁起絵巻」などに接することで、日本文化に親しんでいただきたいという思いから、事前に専用の用紙にてお申し込みいただいた小学校・中学校・高等学校様の教育旅行に限り、石山寺豊浄殿入館料無料（入山料別途必要）でご観覧いただける特別企画を行っております。この機会にぜひお越しいただけましたら幸いです。

多くの皆様のご来寺を心よりお待ちしております。

滋賀県最古の木造建造物である本堂（国宝）一角に設けられた「源氏の間」は、紫式部が『源氏物語』の構想を得た場所と伝わる。



源頼朝公寄進と伝わる我が国最古の多宝塔（建久5年、国宝Ⅱ号真左）と寺名の由来となった珪灰石（天然記念物）

実施要領

期 間：〈春季〉 3月18日～6月30日 〈秋季〉 9月1日～11月30日

いずれも10:00～16:00（入場は15:45まで）

※やむをえない理由がある場合、入館時間など相談に応じます。

会 場：石山寺豊浄殿（ほうじょうでん）

料 金：入山料（30名様以上の団体料金） 小学生200円 中・高校生350円

豊浄殿入館料 無料

申し込み方法：

この特別企画は、完全予約制です。専用の申し込み用紙を石山寺ホームページからダウンロードし、ファックスにてお申し込み下さい。追って担当者からご連絡いたします。

【注意事項】

1. この特別企画は小学校・中学校・高等学校様の教育旅行を対象とし、完全予約制です。必ず専用の申し込み用紙にて希望日の1週間前までにファックスにてお申し込み下さい。事前お申し込みが無い場合は、豊浄殿入館料を有料とさせていただきます。
2. 豊浄殿は狭いため、1度にご入館いただけるのは最大30名です。人数によっては観覧に時間がかかります。また、混雑時（特に土・日・祝日や梅・桜・紅葉のシーズン、ゴールデンウィーク）は入館に時間がかかります。時間に余裕を持ってお越しください。
3. 貸切のご希望には応じられません。一般の方も入館されておりますので、御迷惑のかからないよう静かにご観覧下さい。
4. 時間・人数などに変更がある場合は、早めにご連絡下さい。
5. 万一、キャンセルの場合は、3日前までにお知らせ下さい。
6. 下見をご希望の場合は、申請書にご記入下さい。
7. 本堂内および豊浄殿館内での写真撮影・飲食（お持込）はお断りいたします。
8. 駐車場料金は別途必要です（石山寺観光駐車場 Tel:077-534-1600）。
9. パンフレットご希望の場合は、石山寺へお問い合わせください。
10. 展示内容は、季節ごとに変わります。また会期中も一部展示替えがあります。

【お問い合わせ】

大本山 石山寺

〒520-0861 滋賀県大津市石山寺 1-1-1

Tel:077-537-0013 Fax:077-533-0133

<http://www.ishiyamadera.or.jp/>



「石山寺と紫式部展」(豊浄殿)の様子

石山寺の宝物

重要文化財 大日如来坐像 快慶作
(鎌倉時代)
鎌倉時代を代表する仏師快慶作の大日如来。
源頼朝公が寄進された多宝塔(国宝)のご本尊
さまです。



重要文化財 如意輪観音坐像 (平安時代)
紫式部や藤原道長が石山寺に参詣したこ
ろ、秘仏のご本尊のお身代わりとして本
堂に安置されていた仏さまです。



如意輪観音坐像 (室町時代)
浅井三姉妹 茶々・初・江の曾祖父に
あたる浅井亮政(すけまさ)公ゆかりの
仏さま。石山寺は茶々(淀殿)の寄進で
本堂や東大門の修理が行われました。



重要文化財 石山寺縁起絵巻 第2巻 (鎌倉時代)
第2巻第3段にあたるこの場面は、中世の運送業者である馬借が
描かれており、社会科や歴史の教科書によく掲載される場面です。



土佐光起筆 紫式部図 (江戸時代)
最も知られている紫式部像。教
科書や資料集、書籍、テレビ番
組などでもおなじみです。



重要文化財 石山寺一切經
(4644 巻 奈良~室町時代)
一切經とは仏教の大切なお経などを集め
たもので、聖武天皇や光明皇后が書写さ
れたものもあります。



伝紫式部料 古硯 (平安時代)
紫式部が使用したと伝わる硯



重要文化財 源氏物語絵巻 末摘花 (江戸時代)

国宝 周防国玖珂郡玖珂郷
延喜八年戸籍残巻
(平安時代、九〇八年)
現在の山口県岩国市周東町付
近の住民の珍しい平安時代の
戸籍。紙の裏側は、僧侶の修
行用のテキストが書写されて
います。



松尾芭蕉自画賛句
(江戸時代)
松尾芭蕉が石山寺に滞在し
た際に読んだ句「曙はまだ
むらさきにほととぎす」を
芭蕉自身が書いたもの。

